

生物多様性の主流化と 国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）



国連生物多様性の10年日本委員会の発足①



2010.10.11~29
COP10/MOP5
(愛知県名古屋市)



愛知目標

2050年までの長期目標「自然と共生する世界の実現」
2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために、効果的かつ緊急な行動を実施」及び20の個別目標

日本の
市民セクターからの発案

日本政府の提案により
国連総会への勧告を
COP10で決議

2010.12



国連生物多様性の10年

国連総会において
2011~2020年を「国連生物多様性の10年」と決定
愛知目標の達成に貢献するため、国際社会の
あらゆるセクターが連携して生物多様性の問題に
取り組む期間



国連生物多様性の10年日本委員会の発足②

2011. 9. 1

愛知目標の達成に向けた各セクターの参加と連携による具体的な行動を推進することを目標に「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)を設立し、生物多様性の主流化を目指す





国連生物多様性の10年日本委員会の構成

<委員長>

榊原 定征 一般社団法人 日本経済団体連合会 会長

<委員長代理>

涌井 史郎 東京都市大学 教授

<学識経験者・有識者・文化人> (アイウエオ順)

岩槻 邦男 東京大学 名誉教授
イルカ 国際自然保護連合(IUCN) 親善大使
小菅 正夫 北海道大学 客員教授
堂本 暁子 前千葉県知事、元 IUCN副会長
山岸 哲 兵庫県立コウノトリの郷公園 園長

<関係団体>

(経済界)

一般社団法人 日本経済団体連合会
公益社団法人 経済同友会
日本商工会議所
公益社団法人 日本青年会議所
一般社団法人 大日本水産会
全国漁業協同組合連合会
一般社団法人 日本林業協会
全国森林組合連合会
全国農業協同組合中央会 (JA全中)
全国農業協同組合連合会 (JA全農)
一般社団法人 日本旅行業協会

<関係団体> (続き)

(保全・普及啓発団体等)

国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)
公益社団法人 日本植物園協会
公益社団法人 日本動物園水族館協会
公益財団法人 日本博物館協会
国連生物多様性の10年市民ネットワーク
一般社団法人 CEPAジャパン
生物多様性わかものネットワーク
一般財団法人 自然公園財団
SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク
公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J)
地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)
公益社団法人 国土緑化推進機構
公益財団法人 山階鳥類研究所

(地方自治体)

生物多様性自治体ネットワーク

<関係省庁>

外務省
文部科学省
農林水産省
経済産業省
国土交通省
環境省

【後援団体】

一般社団法人 日本新聞協会
一般社団法人 日本民間放送連盟

愛知目標

目標1

遅くとも2020年までに、**生物多様性の価値**と、それを**保全し持続可能に利用するために可能な行動**を、**人々が認識**する。

生物多様性国家戦略2012-2020

実体験を通じた生物多様性への理解を進め、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた取組を国民運動として展開し、生物多様性に配慮した社会システムやライフスタイルの変換を図っていく「**生物多様性の主流化**」

生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性が地方自治体、事業者、国民などにとって常識となり、それぞれの意思決定や行動に反映させる「**生物多様性の社会における主流化**」

**広報・普及啓発、連携の促進、地域戦略策定、
経済的価値の普及、教育・学習・体験、消費行動の転換**

国連生物多様性の10年日本委員会の活動①

MY行動宣言 5つのアクションと 生物多様性アクション大賞

MY行動宣言の
5つのアクションの
普及とこれに即した
活動を地域から
掘り起して表彰



普及啓発に資する 推薦図書等の選定

生物多様性の理解や普及啓発、
環境学習にも資する図書、
映像・音楽、各種グッズ等を
推薦ツールとして選定

委員会が推奨する 連携事業の認定

「にじゅうまるプロジェクト」
などの中から、
委員会が推奨する
連携事業を認定



意見・情報の交換

生物多様性全国ミーティング

全国の多様なセクターによる
情報交換を実施



生物多様性地域セミナー

地域のさまざまな活動の紹介、
情報交換を実施

生物多様性出前講座

講師を派遣する座学タイプの
出前講座を実施

国際社会への情報発信

COP12 やリオ+20
など様々な
機会を活用して
UNDB-Jの活動を
国際社会に発信



MY行動宣言 5つのアクション

国民一人ひとりが生物多様性との関わりを自分の生活の中でとらえることができるよう、5つのアクションの中から自らの行動を選択して宣言する「MY行動宣言シート」を作成

■ MY行動宣言 5つのアクション

生物多様性の恵みを受け続けられるように、次の5つの中からできることを選んで、あなたの「MY行動宣言」として宣言し、今日から生物多様性を守るために行動しましょう！

Act 1 たべよう	<p>じもと た 地域でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。</p>	<input type="checkbox"/>
Act 2 ふれよう	<p>しぜん なか で どうぶつえん すいぞくかん しよくぶつえん 自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。</p>	<input type="checkbox"/>
Act 3 つたえよう	<p>しぜん すば 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。</p>	<input type="checkbox"/>
Act 4 まもろう	<p>い しぜん ひと ぶんか 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。</p>	<input type="checkbox"/>
Act 5 えらぼう	<p>エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。</p>	<input type="checkbox"/>

くうれんせいぶつたようせい ねんにほんいいんかい 国連生物多様性の10年日本委員会

せいぶつたようせい せいも たち 生物多様性を守るために、私たちにできるアクション!

MY行動宣言

せいぶつたようせいとは、たくさん生きものがつながりあって暮らしていること。せいぶつたようせいを守るためには、まず暮らしの中で、生きものとのつながりを感じることが大切。水や空気はもちろん、食べものや着るものの材料、木材、紙の原料など、いろいろな生きもののおかげで、私たちは生きています。

次の5つの中からあなたにできることを選んで「MY行動宣言」しましょう。生物多様性の恵みを受け続けられるように、「一人ひとりが「MY行動宣言」をして、今日から行動しましょう！

Act 1	たべよう	地域でとれたものを食べ、旬のものを 味わ います。	<input type="checkbox"/>
Act 2	ふれよう	自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものに ふれ ます。	<input type="checkbox"/>
Act 3	つたえよう	自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで 伝 えます。	<input type="checkbox"/>
Act 4	まもろう	生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に 参 加します。	<input type="checkbox"/>
Act 5	えらぼう	エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで 買 います。	<input type="checkbox"/>

お住まいの都道府県 都 道 府 県

性別 男 女

年齢 10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

生物多様性アクション大賞

生物多様性の保全や持続可能な利用につながる地域の活動を掘り起し、光を当てるため、MY行動宣言の5つのアクションに即した活動を全国から募集して表彰



主催：国連生物多様性の10年日本委員会
 共催：一般財団法人セブン-イレブン記念財団
 募集期間：2014年5月22日～9月1日
 応募総数：124



協定調印式(2014.5.16)



大賞を受賞した「まるやま組」

2014年度 大賞受賞団体

「アエノコト」 まるやま組(市民団体) 石川県輪島市

2014年度から、セブン-イレブン記念財団の支援を受けて、UNDB-Jが主体となって実施することとなり、「生物多様性アクション大賞」の事務局を努めるCEPAジャパンと3者で、実施に関する協定を締結して、実施しています。

普及啓発に資する推薦図書等の選定

生物多様性の理解や普及啓発、環境学習にも資する図書、映像・音楽、各種グッズ等を推薦ツールとして選定し、積極的な広報を実施。2013年3月にUNDB-J推薦「子供向け図書」（愛称:「生物多様性の本箱」～みんなが生きものにつながる100冊～）を選定

UNDB-J推薦「子供向け図書」 「生物多様性の本箱」

～みんなが生きものにつながる100冊～

- ・主に幼児から中学生を対象に103点を選定しました（絵本53、読み物28、図鑑17、写真集2、その他3）
- ・外部専門家のご協力を頂きながら選定しました
日本児童図書出版協会
一般財団法人 出版文化産業振興財団
公益社団法人 日本環境教育フォーラム
- ・「生物多様性の本箱」の各作品については、下図の
ように補足表示を行うことにより、UNDB-Jロゴマーク
をご使用いただくことができます

この作品は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の推薦を受けています。

品名	著者	著者	出版者	出版年	種別	価格	選定理由	ページ数
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100
読本	絵本	おはなしの国	小野 洋子	2011年	児童書	100円	おはなしの国は、おはなしの国の国です。おはなしの国には、おはなしの国のお話があります。おはなしの国のお話を、おはなしの国の国のお話として読んでください。	100

選定した各作品のタイトル、著者、出版社、選定理由等をまとめた一覧表（下記ウェブサイトからダウンロード可能）

普及啓発に資する推薦図書等の選定

UNDB-J推薦子供向け図書「生物多様性の本箱」については、全国の図書館に展示コーナーを設けて頂くよう働きかけを行うほか、イベント等への出展により各作品を実際に手に取って頂くなど、積極的な広報を実施

現在の取り組みと今後の展開

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 推薦「子供向け図書」



自然の不思議がいっぱいあった本箱を子供たちに!

現在の取り組み

常設展示



地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)や環境省生物多様性センター(山梨県富士吉田市)等、全国29ヶ所の図書館等で閲覧可能です。

東北復興支援のため、経団連自然保護協議会による全103冊指定寄付



浄土ヶ浜ビジターセンター[岩手県富古市]と地球の楽好[宮城県七ヶ浜町(森と海の楽好)]に寄贈しました。



今後の展開

さらに子供たちに生物多様性を身近に感じてもらえるように、図書館でのコーナー開設や読み聞かせ、観察会等のイベントの実施をお願いします。展示のツールやパンフレットなどもご提供します。



東北の小・中学校、図書館、普及啓発施設等に寄贈し、生物多様性に支えられる東北復興を支援するため、企業等に寄付協賛を呼びかけています。

ぜひ、地域の図書館でもご検討ください!



ウェブサイトでの紹介

UNDB-Jのウェブサイトのほか、環境ポータルサイト「環境goo」において全103点の作品を紹介



<http://eco.goo.ne.jp/topics/biodiversity/books/>

連携事業の認定

愛知目標の達成に向けた各セクターの参加と連携を促進するため、IUCN-Jが実施する「にじゅうまるプロジェクト」の登録事業等の中から、「多様な主体の連携」、「取組の重要性」、「取組の広報の効果」などの観点から総合的に判断し、UNDB-Jが推奨する事業を認定

企業・団体・
NPO・個人等

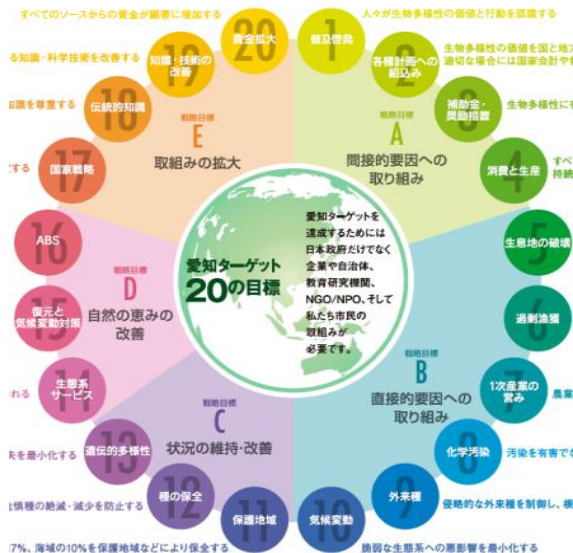
登録

愛知目標の達成について何ができるか考え、20の目標から自分たちの取組が寄与するものを選ぶ



IUCN-Jによる
選定・審査

登録事業A
登録事業B
登録事業C...



認定*



国連生物多様性の10年
日本委員会 (UNDB-J)

UNDB-J
による
選定・審査

認定連携事業A
認定連携事業B
.....

認定連携事業については、下図のように補足表示を行うことにより、UNDB-Jロゴマークをご使用いただくことができます



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。

UNDB-Jのウェブサイトや、UNDB-Jが実施する生物多様性全国ミーティング、生物多様性地域セミナー等において紹介するなど、積極的な広報を行います

※「にじゅうまるプロジェクト」の登録事業以外からも認定

生物多様性全国ミーティング

- ・委員会に参画している様々なセクターが一堂に集い、委員会が推奨する認定連携事業の取組等の発表を行うとともに、相互の連携を深めることを目的に実施
- ・2011年度は名古屋市、2012年度は横浜市、2013年度は豊岡市、2014年度は豊橋市

第4回生物多様性全国ミーティング（2014. 10. 24 豊橋）



鈴木環境事務次官 挨拶



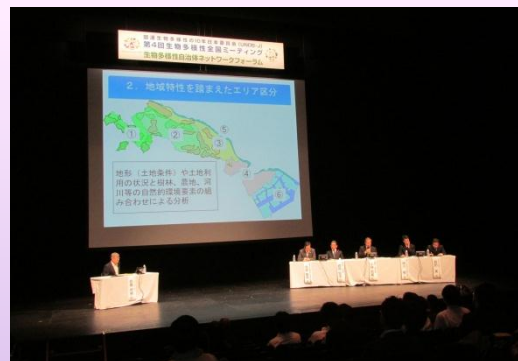
UNDB-Jと豊橋市のキャラクターによる
生物多様性キャラクター応援団共同宣言式



さかなクンによる講演



認定連携事業の表彰



自治体ネットワーク主催パネルディスカッション



会場の様子

生物多様性地域セミナー

- ・地域の市民、企業、団体、自治体等を対象に、委員会事業や、様々なセクターによる取組の発表・意見交換を行うとともに、相互の連携を深めることを目的に実施
- ・開催地 2012年度：名古屋市、福岡市、倉敷市、浜松市
2013年度：阿蘇市、富山市、松山市
2014年度：大分県、北海道、大崎市



大分県「めじろん」
キャラクター応援団
共同宣言式(大分)



円山動物園でのエクスカージョン
(北海道)



子ども向けワークショップ(大崎)

COP12 「国連生物多様性の10年の日 ～UNDB DAY～」 (2014.10 韓国)

- 「国連生物多様性の10年」(UNDB)の推進、愛知目標達成のための行動を呼びかけるため、生物多様性条約(CBD)事務局と一日がかりのイベントを実施
- 午前の部ではUNDB国内委員会を設けている日本、ドイツ、中国が事例を紹介
- 午後の部ではユース、市民、自治体、企業のセクター毎に各国の事例を紹介
- ハイレベルセグメントでは各国代表者等がUNDBの推進に向けた決意を表明



左から生物多様性事務局のジラス事務局長、環境省の星野参与、UNDB-Jの涌井委員長代理



UNDB国内委員会の事例紹介



ハイレベルセグメント



セクター毎の各国事例紹介(左からユース、市民、自治体、企業)

主流化推進チームによる広報・主流化

地球いきもの応援団

著名人による広報組織

生物多様性リーダー

地球いきもの応援団の中から、国民一人ひとりが生物多様性の大切さを理解して行動に移せるよう先導するリーダーを任命



イルカさん
UNDB-J 委員
IUCN親善大使

生物多様性キャラクター応援団

様々な機関・団体の広報キャラクターによる広報組織



Iki・Tomoパートナーズ (Facebook)

UNDB-Jの活動の趣旨に賛同し、自ら行動する個人・団体をメンバーとして募集

普及啓発ツール・アイテムの展開

生物多様性マガジン「Iki・Tomo」



グリーンウェイブ

リーフレットやポスターの作成、参加証の発行などにより参加を呼びかけ

地球いきもの応援団

- ・著名人による広報組織「地球いきもの応援団」。現在のメンバーは26名
- ・イベントや講演会など様々な場面で、生物多様性に関するメッセージを発信
- ・応援団の中から、生物多様性の主流化を先導する「生物多様性リーダー」を任命

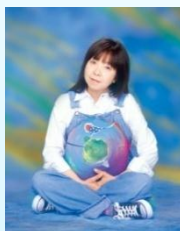
(敬称略・50音順。◎印は、生物多様性リーダー。赤い枠で囲まれた応援団は、H26新規参加)



あん・まくだなると



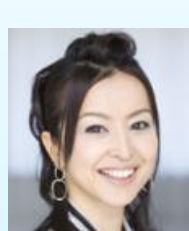
今森 光彦



◎イルカ



◎江戸家 猫八



◎大桃 美代子



草野 満代



◎小菅 正夫



◎さかなクン



◎ジョン・ギャスライト



◎真珠 まりこ



高木 美保



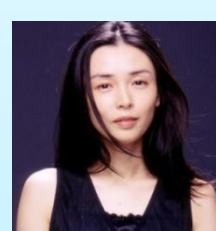
滝川 クリステル



田中 律子



土屋 アンナ



中嶋 朋子



長沼 毅



根本 美緒



元 ちとせ



福岡 伸一



松本 志のぶ



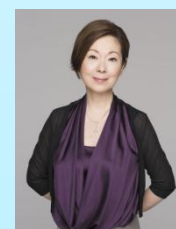
茂木 健一郎



◎森田 正光



安田 祥子



由紀 さおり



◎ルー 大柴



C・W・ニコル

生物多様性キャラクター応援団

- ・2012年9月、新しい広報組織として「生物多様性キャラクター応援団」を旗揚げ
- ・全国ミーティング、地域セミナー等の機会を活用し、キャラクター同士の「共同宣言」を実施
- ・2015年3月時点で100を超えるキャラクターが登録



生物多様性地域セミナー in 北海道(H26.11)
北海道「えこ之助」、札幌市「カッコー先生」



生物多様性地域セミナー in 大分(H26.9)
大分県「大分県応援団“鳥”めじろん」



生物多様性地域セミナー in 大崎(H26.12)
大崎市「パタ崎さん」



緑のgoo 「里山どうぶつコレクション」(H26～)

URL : <http://www.goo.ne.jp/green/field/?rdm=ggnj>

緑のgooを使うと、タマゴが育って動物が生まれます。
全27種類の中に、生物多様性キャラクター応援団がふくまれています。
是非、お試し下さい。

Iki・Tomoパートナーズ

UNDB-Jの活動の趣旨にご賛同いただき、
生物多様性の保全や持続可能な利用に自ら
取り組む個人、事業者、団体の方々を、
「Iki・Tomoパートナーズ」のメンバーとして募集中

■ メンバーになる方法

Iki・TomoパートナーズのFacebookページに
「いいね！」して下さい

→ <http://www.facebook.com/UNDBJ/>

■ メンバーの特典

- ・専用ロゴマークをご使用いただくことができます
- ・Facebookを通して生物多様性の主流化に役立つ情報を提供します



〇〇〇〇は
「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の
Iki・Tomoパートナーズのメンバーとして
生物多様性の保全や持続可能な利用に
取り組んでいます。

※ 〇〇〇〇は企業・団体等の名称。個人の場合は「私」

「いいね！」で生物多様性を広めよう
Iki・Tomoパートナーズ

「いいね！」してね!

Iki・Tomoパートナーズとは?
国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) では、生物多様性の主流化、国民運動への足掛かりとして、Iki・Tomoパートナーズを立ち上げました。
UNDB-Jの活動の趣旨に賛同し、生物多様性の保全や持続可能な利用に自ら行動する個人、団体、事業者の方々をメンバーとして募集しています!

1 どうすれば?
どうすれば Iki・Tomoパートナーズになれますか?
facebookページに「いいね！」をすればすぐメンバーに!

2 どんなひとが?
どんなひとが Iki・Tomoパートナーズになれますか?
●「MY行動宣言」などを参考に生物多様性保全活動などに取り組んでいる個人・団体
●「生物多様性政策影響ガイドライン」などを参考に生物多様性に配慮した事業活動に取り組んでいる事業者
これから取り組むつもりしている方々もOK!

3 なにがある?
Iki・Tomoパートナーズになると、なにがありますか?
UNDB-Jの最新情報が得られて、Iki・Tomoパートナーズのメンバー専用ロゴマークが使えます!

Iki・Tomoパートナーズがすぐわかる!
3つのポイント

Iki・Tomoパートナーズがすぐわかる!
国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) は、生物多様性の保全や持続可能な利用に Iki・Tomoパートナーズのメンバーの活動を支援し、生物多様性の主流化を促すよう!

Iki・Tomoパートナーズ facebookページをチェック!
www.facebook.com/UNDBJ/

グリーンウェイブ

- ・生物多様性条約事務局は、国連が定める国際生物多様性の日(5月22日)に、世界各地の子どもたちが学校や地域などで植樹等を行うグリーンウェイブへの参加を呼びかけている
- ・UNDB-Jは、環境省、農林水産省、国土交通省とともに、グリーンウェイブ活動への参加を呼びかけている

■ グリーンウェイブについて

主唱 環境省、農林水産省、国土交通省

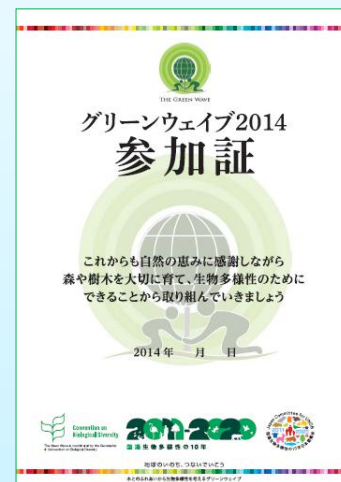
実施期間 毎年3月1日～6月15日

実施事項

- ・グリーンウェイブ活動の計画及び実施
- ・ウェブサイトへの登録及び結果報告

グリーンウェイブ活動とは

- ・植樹
- ・森林や樹木等の保全、手入れ
(植樹した樹木への水やり、里山の管理等)
- ・森林や樹木とふれあう活動(イベント等)の実施、参加



UNDB-Jは、リーフレットやポスターの作成、参加証の発行などにより参加を呼びかけ

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
参加団体数	80団体	1,588団体	383団体	465団体	567団体	373団体
協力団体数	7団体	45団体	91団体	144団体	140団体	77団体
活動に参加した人数	約3,000人	約111,000人	約28,000人	約18,000人	約18,000人	約51,000人
植樹した本数	約3,500本	約254,000本	約79,000本	約60,000本	約41,000本	約98,000本

ロゴマークの使用について

UNDB-Jの広報組織等のメンバー及び寄付・協賛者、本委員会の認定や後援・推薦を受けた事業等については、以下のような補足表示を行うことにより、UNDB-Jロゴマークをご使用いただくことができます



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。

※ 認定連携事業の場合の使用例

委員会の広報組織等のメンバーが使用する場合	私は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の地球いきもの応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。
	私は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の生物多様性リーダーの一員として生物多様性の主流化に取り組んでいます。
	〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の生物多様性キャラクター応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。 ※〇〇はキャラクター名
	〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」のIki・Tomopartnersのメンバーとして生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組んでいます。 ※〇〇は企業・団体名(個人の場合は私)
委員会により認定された連携事業に使用する場合	この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。
委員会により選定された推薦図書等に使用する場合	この作品は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の推薦を受けています。
委員会が後援、推薦する行事等が使用する場合	この行事(例)は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の後援を受けています。
	この作品(例)は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の推薦を受けています。
委員会への寄付・協賛者が使用する場合	〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」サポーターとして様々な活動を支援しています。 ※〇〇は企業・団体名(個人の場合は私)
	〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」サポーターとして△△プロジェクトを支援しています。 ※〇〇は企業・団体名(個人の場合は私) ※△△は寄付・協賛募集プロジェクト名

生物多様性の主流化に向けて

生物多様性の認知度（『環境問題に関する世論調査』結果）

2009年	13	24	62
2012年	20	36	41
2014年	17	30	52

- 言葉の意味を知っている
- 意味は知らないが聞いたことがある
- 聞いたこともない
- わからない

10%

100%

生物多様性国家戦略2012-2020の目標値
“平成31年度末までに75%以上とする”
 （言葉の意味を知っている＋意味は知らないが聞いたことがある）

**2014年7月の世論調査の結果を
踏まえ、更なる取組が必要**

普及啓発ツール

生物多様性を広く一般に普及啓発することを目的に、様々なツールを作成・提供



生物多様性パネル



生物多様性絵本



TEEBパンフレット



生物多様性キャラクター

2020年に向けた中間評価

国連生物多様性の10年の折り返し地点である平成27年(2015年)に向け、UNDB-Jの活動の中間評価を実施し、2020年に向けたロードマップを描くため、UNDB-J構成団体へのアンケートやヒアリング、セクターごとの意見交換会等を実施。

各委員向けにアンケートを実施(H26. 6)

アンケート結果からみた中間評価の視点

- ・委員の取組を通じた主流化の一層の推進
- ・各セクター間の連携の強化
- ・社会的発信力の強化
- ・必要な資金の精査と確保
- ・2020年のゴールイメージ

委員の取組を通じた主流化を目指して

関係団体を取り組めるコンテンツの提案 ・MY行動宣言、グリーンウェイブ、生物多様性の本箱

優良事例の社会への発信 ・生物多様性アクション大賞、認定連携事業

取組事例の共有 ・にじゅうまるプロジェクト、生物多様性.com

関係団体等への普及啓発ツールの提供 ・地球いきもの応援団、キャラクター応援団、iki-tomo

セクター間の情報交換 ・委員会、全国ミーティング、地域セミナー

委員の学びの支援 ・出前講座、UNDB-Jオフィシャルサイト